

# 令和元年度 決算概要

決算状況をより分かりやすくお知らせするため、家計に例えて決算額の2000分の1で表しています。※( )内は実際の決算額



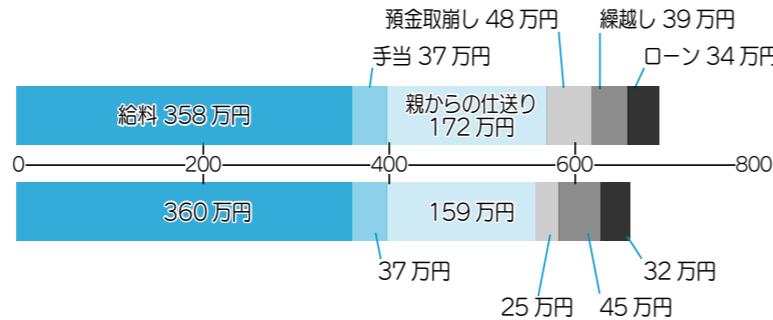
令和元年度の決算では、48万円(9億4,802万円)の黒字となりました。そこから、令和2年度へ繰り越した事業に必要な金額を除いた実際の黒字額は39万円(7億8,191万円)となりました。

## 収入 ※( )内は実績

◆令和元年度は、保育料等無償化に伴う国・県支出金が増加したことで、「親からの仕送り」が増えました。また、前年度に比べて、財政調整基金の取崩しが多かったため、「預金取崩し」も増えました。

給料…地方税、地方交付税  
 手当…分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、諸収入  
 親からの仕送り…地方譲与税、各種交付金、国庫支出金・県支出金  
 預金取崩し…繰入金 繰越し…繰越金 ローン…地方債

令和元年度  
 収入総額 688万円 (137億5,413万円)  
 平成30年度  
 収入総額 658万円 (131億5,872万円)

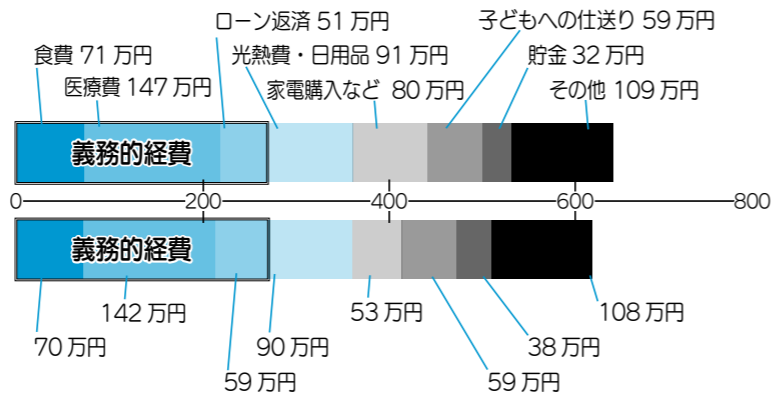


## 支出 ※( )内は実績

◆令和元年度の支出の特徴は、市道の道路改良事業等を例年より多く実施したことにより「家電購入など」が大きく増えたことです。一方、地方債の繰上返済を前年度に実施したことにより、「ローン返済」が減っています。

食費…人件費 医療費…扶助費 ローン返済…公債費  
 光熱費・日用品…物件費 家電購入など…普通建設事業費、維持補修費  
 子どもへの仕送り…繰出金 貯金…積立金 その他…補助費など、貸付金

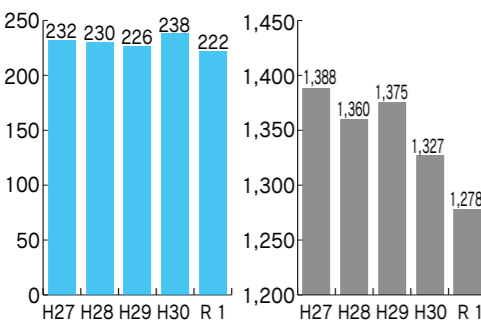
令和元年度  
 支出総額 640万円 (128億611万円)  
 ※内、義務的経費 269万円 (53億6,708万円)  
 平成30年度  
 支出総額 619万円 (123億7,119万円)  
 ※内、義務的経費 271万円 (54億2,285万円)



令和元年度の義務的経費が支出総額に占める割合については、42.0%(269万円(53億6,708万円))となりました。平成30年度は43.8%(271万円(54億2,285万円))だったので、対前年度比1.0%(2万円(5,577万円))の減となりました。「食費」や「医療費」が増えた一方、前年度に地方債の繰上返済を実施したことで「ローン返済」が減ったことによるものです。義務的経費の中でも、「医療費」は例年増加傾向にあるため、今後も動向に注意する必要があります。

## ●基金(貯金)、市債(ローン)残高の推移

貯金残高 単位:万円 ローン残高 単位:万円



基金(貯金) …財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金の合計  
 市債(ローン) …一般会計(493万円)、特別会計、公営企業会計の市債の合計  
 ※一般会計ローン残高のうち、314万円は、臨時財政対策債の残高で、その全額が国により資金手当されます。

◆できるだけ借入に頼らない財政運営を行っていることや、令和元年度中に、地方債の繰上返済を行ったこともあり、ローン残高は1,278万円(255億4,997万円)と減りました(前年度比▲49万円(▲9億7,961万円))。一方、必要な資金を確保するため基金を取り崩し、貯金残高は222万円(44億4,476万円)と減りました(前年度比▲16万円(▲3億2,014万円))。今後も毎年のローン返済が控えていることから、引き続き経費の節減合理化を図り、財政の健全化に取り組んでいくとしています。

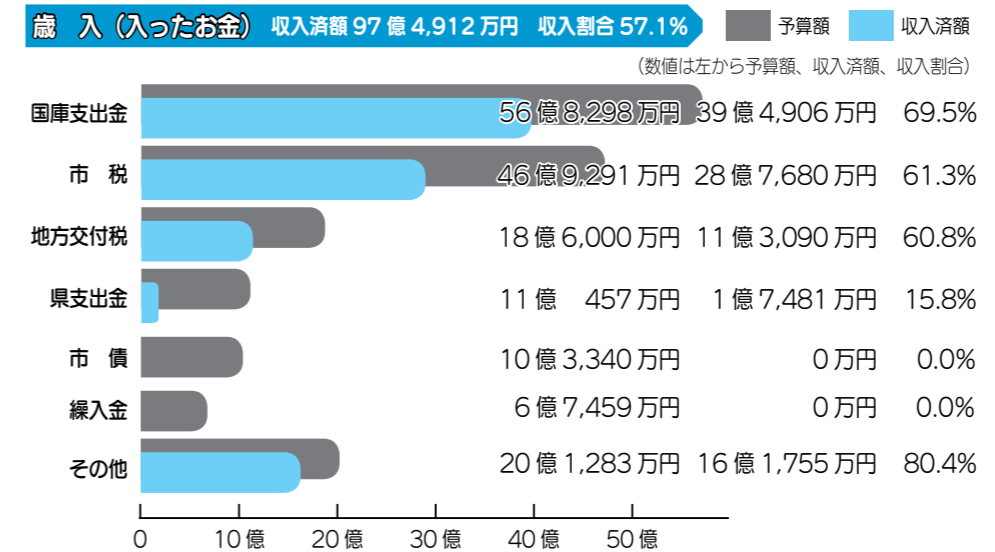
## ●特別会計・公営企業(水道・下水道事業)会計の決算

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	27億9,416万円	27億7,198万円	2,218万円
後期高齢者医療事業	8億4,432万円	8億3,085万円	1,347万円
介護保険事業 保険事業	28億8,133万円	28億2,390万円	5,743万円
サービス事業	1,174万円	1,174万円	0万円
工業団地造成事業	6億1,433万円	6億1,433万円	0万円
水道事業	5億2,178万円	6億7,519万円	▲1億5,341万円
下水道事業	30億3,727万円	33億7,537万円	▲3億3,810万円

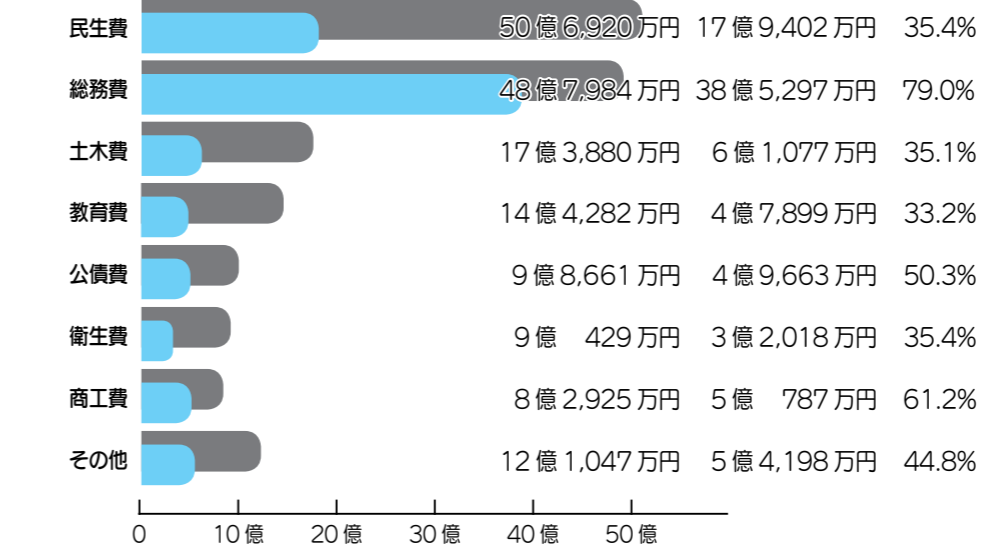
# 令和2年度 予算執行状況

(令和2年9月末現在)

## ●一般会計予算執行状況 (予算額 170億6,128万円) ※令和元年度からの繰越し分を含む



## ●歳出(使ったお金) 支出済額 86億341万円 支出割合 50.4%



## ●特別会計予算執行状況

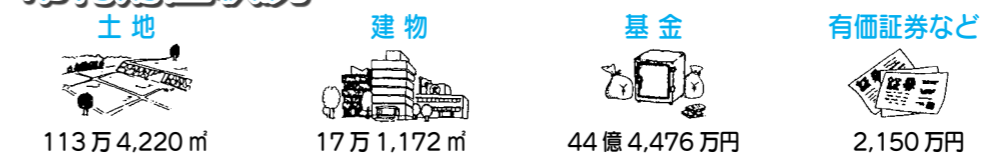
会計名	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	収入割合	支出済額	支出割合
国民健康保険事業	29億1,606万円	11億3,069万円	38.8%	9億6,137万円	33.0%
後期高齢者医療事業	8億3,966万円	1億7,399万円	20.7%	2億6,347万円	31.4%
介護保険事業 保険事業	32億3,650万円	14億230万円	43.3%	11億9,682万円	37.0%
サービス事業	1,280万円	501万円	39.1%	551万円	43.0%
工業団地造成事業	1億4,287万円	1億2,592万円	88.1%	1億2,885万円	90.2%

## ●公営企業会計予算執行状況

	歳入			歳出		
	予算額	収入済額	収入割合	予算額	支出済額	支出割合
水道事業	4億2,622万円	1億9,929万円	46.8%	4億1,135万円	8,369万円	20.3%
資本的収支	6,160万円	134万円	2.2%	2億6,534万円	7,851万円	29.6%
下水道事業	14億6,140万円	6億5,891万円	45.1%	12億7,692万円	1億8,610万円	14.6%
資本的収支	14億7,989万円	2億1,807万円	14.7%	21億5,597万円	6億869万円	28.2%

# 市有財産状況

(令和2年9月末現在)



# 滑川市の 財政事情

問合せ先 財政課(内線261・262)

市の財政状況を、1年に2回、市民の皆さんにお知らせしています。

今回は、令和2年度予算の上半期の執行状況と市の財産の状況、令和元年度の決算の概要を掲載しています。

## 用語解説

【歳入の部】  
**国庫支出金・県支出金**  
 様々な事業に対する国・県からの補助金、委託金などです。

**市税**  
 市民の皆さんや法人が市に納める税金で、市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税を総称したものです。

**地方交付税**  
 全国の市町村が等しく事務を行えるよう、一定の基準により国から交付されるお金です。

**市債**  
 施設の整備などのために借りのお金です。  
**繰入金**  
 各基金から取り崩して入ってくるお金です。

【歳出の部】  
**民生費**  
 高齢者、障がい者、児童の福祉や生活保護に使われます。

**総務費**  
 市の全般的な管理、企画や選挙、戸籍・住民票事務などに使われます。

**土木費**  
 道路、公園、市営住宅などの建設や管理に使われます。

**教育費**  
 小・中学校、公民館の運営や、文化・スポーツの振興などに使われます。

**公債費**  
 借り入れた市債の元金・利子などの償還に使われます。

**衛生費**  
 ごみ処理や環境保全、市民の健康増進などに使われます。

**商工費**  
 商業や工業、観光の振興などに使われます。

【各会計の解説】  
**一般会計**  
 市税収入を主な財源として、福祉、保健衛生、土木、教育、消防など市の仕事の大部分をまかなう会計です。

**特別会計**  
 特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合、一般会計とは別にその経理を明らかにするために設けられた会計で、本市には国民健康保険事業や介護保険事業など、4つの特別会計があります。

**公営企業会計**  
 民間企業と同様に、事業で得た収入で支出をまかなうという、独立採算を原則とする事業について設けられた会計で、本市では水道事業会計と下水道事業会計が該当します。